

外航船舶代理店業協会 (JAFSA) は29日、東京都内で夏季セミナー

JAFSA

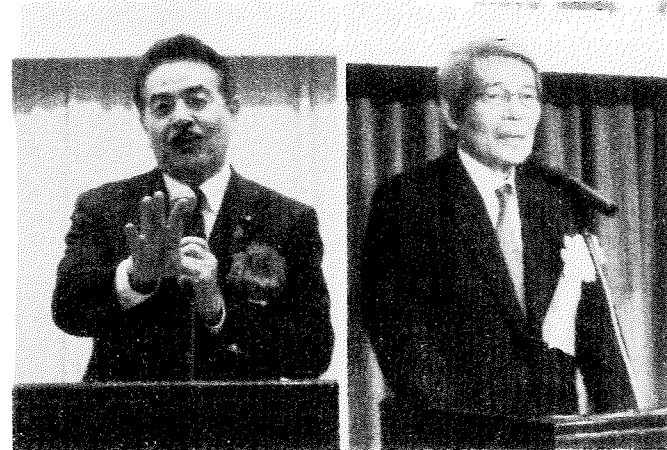
安全保障テーマに講演

夏季セミナーを開催

を開催した。元自衛官で「ヒゲの隊長」で知られる参議院議員の佐藤正久氏が「我が国を取り巻く安全保障環境」をテーマに講演した。

佐藤氏は、最新の国際情勢と日本が抱える地政学的リスクなどについて解説した。島国である日本にとって物流は生命線であると同時に、パシフィック海峽などの海上物流の要所は常にリスクにさらされている点を指摘。米国の大統領選の海上物流への影響にも触れた。

講演後に行われた懇親会であいさつした同協会の飯垣隆三会長は「当協会としては、今回のような魅力あるセミナーを実施することで会員の



講演する佐藤議員

あいさつする飯垣会長

増強を図っている。会員数も増加傾向にあり、ますます発展していくことを願っている」と語った。

続いて来賓を代表して東京港湾頭会社の服部浩社長があいさつし、前国土交通省港湾局長でJFEスチール顧問の堀田治氏による乾杯の発声で懇談に移った。

JAFSA: 夏季セミナー開催、佐藤正久・参院議員が“安全保障”をテーマに講演

外航船舶代理店業協会 (JAFSA) は7月29日、2024年度夏季セミナーと懇親会を都内のホテルで開催した。

セミナーでは参議院議員の佐藤正久氏 (写真右) による、「我が国を取り巻く安全保障環境」についての講演が行われた。佐藤氏は最新の国際情勢と日本が抱える地政学的リスクなどについて解説した。

「近年、軍事の面においてドローンやミサイルの発達により『海が陸地化』していて、日本を取り巻く環境が変わってきている。台湾とフィリピンの上に位置するパシフィック海峽などの海上物流の要所は常にリスクにさらされている」と指摘したうえで、「日本は島国だが、“物流が止まったら日本の経済や国民生活も終わり”ということを基礎に、国民に教育しなければいけない」と述べた。

米国大統領選についても触れ、「トランプ氏が大統領になった場合、中国に対して厳しく出る。現バイデン政権も対中関税規制を強化しているが、トランプ氏の方が

強固な“アメリカファースト”思想を掲げている。米中経済のデカップリング (分断) による規制強化の対象が半導体やEVだけでなく、あらゆる分野に広がる可能性があり、同盟国や同志国にも対中の規制強化を強要してくるだろう。日本の国益を守るには相当うまくやらなければならない」との見解を示した。

緊張が高まっている台湾有事については「日本は物流だけでなく地理・政治的に一番影響を受ける」と警告、「物流は日本の生命線。政府や民間が一体となって守ることが大事だ」と強調した。

セミナー後の懇親会で飯垣隆三 JAFSA 会長 (ペンライン・エージェンシーズ・ジャパン会長、写真上) は、「内容の濃い迫力のある有意義な講演を開催できた。実際、ここ数年のセミナーの内容を受けて、会員企業が増えている。今回のような魅力的なセミナーを続けていくことで、協会メンバーの増強を図り、当協会が将来発展していくことを期待していきたい」と述べた。



佐藤正久参院議員が講演

■ JAFSA、夏季セミナーを開催

外航船舶代理店業協会（JAFSA）は29日、都内で夏季セミナーを開催した。佐藤正久参議院議員による講演のほか、セミナー後には懇親会も開催され、100人近くの会員および関係者が参加した。

佐藤氏はセミナーで、「我が国を取り巻く安全保障環境」と題して講演を行った。米国大統領選の行く末に触れ、「トランプ氏に決まった場合、間違いなく中国には厳しく出る。日本の国益を守るには相当上手くやらなければならない」と強調。台湾有事について

も地理的・政治的背景を踏まえて「一番影響を受けるのは日本だ」と警鐘を鳴らし、「物流は日本の生命線だ。政府、国民一体となって守っていく必要がある」と語った。

懇親会では冒頭、JAFSAの飯垣隆三会長（ベン・ライン・エージェンシーズ・ジャパン会長）があいさつに立った。佐藤氏の講演の感想を述べ、「ビジネスをやるには国が安全でなけれ



JAFSAの飯垣隆三会長

ばいけない」とコメント。また、「こうした魅力あるセミナーを行うことで会員増強を図っている」とし、セミナー内容を受けて会員になる企業が年々増えていることを明かした。

続いて、東京港埠頭の服部浩代表取締役社長が来賓あいさつを行った。米国大統領選や北米東岸の労使交渉など、外航海運を取り巻く状況は先行き不透明であるとし、そんな中でも「利用いただく船舶や代理店にとって、ストレスなく、使い勝手の良いターミナルを提供できるよう日々精進していく」とした。乾杯の音頭は前国土交通省港湾局長の堀田治氏が取った。

夏季セミナーを開催

■ JAFSA、佐藤正久参議院議員が講演

外航船舶代理店業協会（JAFSA）は29日、都内で夏季セミナーを開催した。佐藤正久参議院議員による講演のほか、セミナー後には懇親会も開催され、100人近くの会員および関係者が参加した。

佐藤氏はセミナーで、「我が国を取り巻く安全保障環境」と題して講演を行った。米国大統領選の行く末に触れ、「トランプ氏に決ま

った場合、間違いなく中国には厳しく出る。日本の国益を守るには相当上手くやらなければならない」と強調。台湾有事についても地理的・政治的背景を踏まえて「一番影響を受けるのは日本だ」と警鐘を鳴らし、「物流は日本の生命線だ。政府、国民一体となって守



JAFSAの飯垣隆三会長

JAFSAが24年度夏季セミナー開催

佐藤参議院議員が日本の安全保障講演

外航船舶代理店業協会 (JAFSA) は29日、都内で2024年度夏季セミナーと懇親会を開催し、自由民主党の佐藤正久参議院議員 (写真上) が「我が国を取り巻く安全保障環境」をテーマに講演した。

佐藤氏は、冒頭で現在の日本の地理的、国際政治的な状況を説明し、日本のサプライチェーンを支える海上輸送路に対して懸念されるリスクなどを説明したうえで「実は日本国民はこの国が島国だという意識が希薄だ。海上輸送路の安全性確保がいかに大切か、各々がもっと理解しなければいけない」と日本の安全保障環境と合わせて警鐘を鳴らした。

セミナー後の懇親会ではJAFSAの飯垣隆三会長 (Ben Line Agencies

Japan会長、写真下) が挨拶に立ち「今日は内容の濃い、緊張感にあふれるセミナーを開催できた。貿易をはじめとする様々なビジネスを円滑に進めていくためには、国が安全で、戦争が起らないようにしなければならないという認識を強くした。JAFSAはこれまでも様々な魅力あるセミナーを開催してきた。近年はセミナーの内容が良好で会員も増えてきたので、今後もJAFSAは今日のような魅力あるセミナーを開催し会員の増強を図りたい」と述べた。

続けて来賓挨拶として東京港埠頭会社 (TPT) の服部浩社長が登壇し、「外航海運は、現在地政学的リスクのほか、9月には米国東岸労使協約の期限を迎え交渉の決裂するリスクに直面している。また米大統領選の結果を警戒し、米国では在庫確保の強化と船腹の需給関係がひっ迫しつつあるという。それがいつまで続くか見通しが不透明な状況だ。我々は船社や顧客らの利便性を第一に、使い勝手の良いターミナルを目指し精進していく」と抱負を述べ、その後、前国土交通省港湾局長で現JFEスチール顧問の堀田治氏が乾杯の音頭をとった。

